



赤い羽根共同募金「地域ささえあいプロジェクト」

プロジェクト実施期間：令和8年1月1日～令和8年2月28日

子どもシェルターモモ

10代後半の子ども・若者へ向けた相談先&緊急避難先の広報

児童虐待件数は年々増加の一途をたどっており社会問題になっていますが、本人からのSOSは非常に少ない状態です。10代後半の子どもへの虐待は本人からのSOSがない限り、発見できにくいのが現実です。SOSが出せない中学生・高校生年齢の子どもたちの自殺者は増加しています。命を絶つまでに思い詰めている10代後半からの子ども・若者に向けて、相談先や緊急避難先があることをカードやインターネットを通じて広報することが必要です。

子どもシェルターモモは、皆様のご支援のおかげで10代後半の子ども・若者に向けての支援を続けて17年目を迎えることができました。子どもシェルター「モモの家」、自立援助ホーム「あてんぼ」「学南ホーム」を利用した人はこれまでに238人、2024年度にアフターケア事業所の利用者は103人で、4,582件にのぼります。困難を抱えた子ども・若者たちへの支援に関わる職員やスタッフには、彼らが自分で意思決定できるように伴走するための継続した研修が求められています。



本事業では

QRコード付きの相談先を示したカードを作成し、高等学校、専門学校、大学生に配布します。専門の相談員を配置し、本人の意思を尊重、確認しながら関係機関、団体と連携し問題解決に向けて伴走します。

ボランティアスタッフ養成講座を開講し、困難を抱えた子どもの理解と援助の基本を学ぶ機会を広く市民に提供し、ボランティアスタッフ登録者を募ります。また、講座内容はホームページや広報誌を通じて伝えていきます。

職員の子どもの対応力を高めるために専門家を招き、事例検討を通じた研修を継続的にを行います。